

香港株式市場フラッシュ

予想外の新顔で多様性が増すハンセン指数

リサーチ部 李一承

Tel: 03-3666-0707

E-mail: icheng.lee@phillip.co.jp

2021年6月1日号(5月31日作成)

“ハンセン指数構成銘柄が3銘柄増の58銘柄”

5/21、香港株式市場の各種株価指数を算出するハンセン指数会社 [HSI]は、ハンセン指数、H株指数、ハンセンテック指数など主要指数構成銘柄の見直し結果を発表。いずれも6/7からの実施予定だ。JD.com(9618)、ネットイース(9999)、京東健康(6618)、快手(1024)、李寧(2331)などの人気銘柄を押し退けて、EV大手のBYD(1211)、不動産管理大手の碧桂園服務HD(6098)、ソーラーガラスメーカー大手の信義光能HD(968)の3社がハンセン指数に新規採用された。

H株指数では、BYDのほか、不動産管理大手の恒大物業集団(6666)が採用された一方で、カントン・インベストメント(270)、チャイナ・ユニコム(762)、中国鉄塔(788)の3社が除外された。

ハンセンテック指数では、自動車情報サイト運営のオートホーム(2518)、動画配信大手のビリビリ(9626)が採用の一方、通信機器メーカー大手のZTE(763)、インターコネクト部品製造大手のFIT(6088)、モバイルゲーム大手の祖龍娛樂(9990)が除外。HSIによる見直しを受けて、ハンセン指数が3社増の58銘柄、H株指数が1社減の50銘柄、ハンセンテック指数が1社減の30銘柄となった。

ハンセン指数、H株指数、ハンセンテック指数の入れ替え一覧

| コード | ハンセン指数追加銘柄 | コード | ハンセン指数除外銘柄 |
|------|---------------|------|---------------|
| 968 | 信義光能HD | | |
| 1211 | BYD | | |
| 6098 | 碧桂園服務HD | | |
| コード | H株指数追加銘柄 | コード | H株指数除外銘柄 |
| 1211 | BYD | 270 | カントン・インベストメント |
| 6666 | 恒大物業集団 | 762 | チャイナ・ユニコム |
| | | 788 | 中国鉄塔 |
| コード | ハンセンテック指数追加銘柄 | コード | ハンセンテック指数除外銘柄 |
| 2518 | オートホーム | 763 | ZTE |
| 9626 | ビリビリ | 6088 | FIT |
| | | 9990 | 祖龍娛樂 |

出所:ハンセン指数会社 (HSI) 公表データよりフィリップ証券作成

今年3月、HSIが22年半ばまでにハンセン指数の構成銘柄を80銘柄まで増やし、最終的に100銘柄まで拡充すると指数改革案を発表。これを受けて、JD.com、ネットイースなど人気銘柄のハンセン指数銘柄入りが確実視されただけに、信義光能HDや碧桂園服務HDのハンセン指数入りは市場関係者を驚かせた。その中でも、昨年8月の指数見直し時にH株指数から除外されたBYDが採用されたことや、人気薄の信義光能HDが優良株を意味するブルーチップで選ばれたことは脱炭素シフトを印象付けたと言えよう。

“ニューエコノミーの色彩が一層強まるハンセン指数”

ハンセン指数時価総額に占めるBYD、碧桂園服務HD、信義光能HDの占有率がそれぞれ0.98%、0.97%、0.46%となるなか、占有率上位銘柄の勢力図も大きく塗り替えられた。HSIの改革案によると、同指数の占有率上限が一律8%となるなか、セカンダリー上場株や議決権種類株の指数への組入れ上限も5%から8%へ引き上げられた。占有率上位銘柄のうち、AIAグループ(1299)が10.24%から8.00%へ、テンセント(700)が9.38%上限から8.00%へ、HSBC(5)が8.40%が7.89%へ引き下げられたのに対し、美团(3690)が4.28%から7.71%、アリババ(9988)が5.59%から7.33%へ引き上げられた。美团とアリババの両社が今回の指数見

直しでプレゼンスを拡大した勝ち組とみられよう。証券大手の中信証券によると、美团には9.5億USD、アリババには5.0億USDのインデックス買いの新規資金流入が見込まれるという。

今回の指数見直しで、「金融」の時価総額ウェイトが41%から37%へ低下した半面、「商工業」の同ウェイトが47%から51%へと初めて5割を超えた。投資銀行大手の中金会社のまとめによると、HSIによる指数の見直しを受けて、ニューエコノミーの指数に占めるウェイトはハンセン指数が40%から44%へ、H株指数が55%から58%へと共に上昇したなか、ハンセン指数と比較してH株指数の方がニューエコノミー指数としての性格を強めた格好だ。

ハンセン指数に占める時価総額占有率上位銘柄の変動一覧

| 銘柄名 | 指数に占める占有率 (見直し前) | 指数に占める占有率 (見直し後) |
|---------------|---------------------|---------------------|
| 美团(3690) | 4.28% | 7.71% |
| アリババ(9988) | 5.59% | 7.33% |
| AIAグループ(1299) | 10.24% | 8.00% |
| テンセント(700) | 9.38% | 8.00% |
| HSBC(5) | 8.40% | 7.89% |

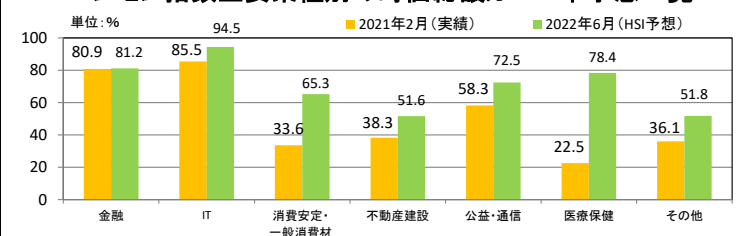
出所:ハンセン指数会社 (HSI) 公表データよりフィリップ証券作成

“ハンセン指数は来年半ばまでに22銘柄増加へ”

HSIのまとめによると、ハンセン指数が2022年半ばまでに80銘柄に増加する見通しの下、主要業種ごとに指数構成銘柄の時価総額カバー率をシミュレーションした場合、主要7業種のうち、同時点で医療保健セクターの時価総額カバー率が現在の22.5%から78.4%への上昇、消費安定・一般消費材セクターも同33.6%から65.3%への上昇が見込まれる。同シミュレーションを踏まえると医療保健セクターは同3銘柄から10銘柄へ、生活必需品・一般消費材セクターは同11銘柄から20銘柄へ増加するとみられる。

医療保健セクターでは、京東健康(6618)、平安ヘルス(1833)、薬明康徳(2359)、薬明生物(2269)、消費安定・一般消費材セクターでは、JD.com、ネットイース、快手などがハンセン指数に組み込まれる可能性は高いとみられる。

ハンセン指数主要業種別の時価総額カバー率予想一覧



出所:ハンセン指数会社 (HSI) 公表データよりフィリップ証券作成

また、中金会社によればハンセン指数が80銘柄に達した場合の主要業種が指数全体に占める時価総額比率は、金融が現在の41.3%から32.8%へ低下する反面、ITセクターが同14.6%から28.6%へ、コンシューマーが同12.5%から14.2%へ、医療保健が5.0%から7.4%へ上昇すると見通した。ハンセン指数は、ニューエコノミーの比率が52.4%と全体の過半数を超えれば、ニューエコノミーの株式市場として認知されることとなる。

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。